

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年2月28日

事業所名：君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

保護者からのご意見を踏まえ、運営における課題点及び改善点を確認し、今後の運営に生かしてまいります。

対象：令和6年11月1日在籍児童60名の保護者56世帯

意見収集方法：各世帯にアンケート用紙を配布及びメール配信によるオンラインアンケート

回答枚数：8枚 オンライン回答：62件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	79.1%	14.5%	4.8%	1.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練室のトランポリンなど他の園にはなかなかなく、とても素晴らしい活動スペースだと思います。 ・園庭がもう少し広ければいいと思いますが、目の届きやすい範囲だと適切かなとも思います。 ・運動する場が少ない ・建物の古さ ・園庭も広く、和気あいあい遊んでいる姿が印象にあるからです。 ・確保されているとは思いますが、園庭が半分使えない状態なのは勿体無いと思う。 ・園庭、集会室、遊戯室があり子供が飽きず沢山体を動かせると思います。 ・集会室、訓練室があり、そこで他クラスとの関わりもあり良いなと思いました ・集会室・訓練室は充分だと感じますが、教室は園児10名職員3名程が活動するには少し狭いように感じられました。 ・教室が狭く感じる ・教室で座って遊ぶには良いと思いますが、イスに身体を動かすとすると、せまい感じになりました。 	指導室などの各部屋については、設備基準を満たしています。また、建物については、必要に応じて修繕を実施し、施設の維持管理に努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	83.8%	8.1%	1.6%	6.5%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・手厚く関わっていただいています。 ・定型児の配置よりかなり手厚いですが、手をかけて丁寧に育てる必要のある子達なので、補助の先生がいてくださればいいと思います。 ・家庭で気が付かない細かな発見を先生方が見てくださり、感謝しかないです。 ・人員配置に問題ないという点で「はい」という回答ですが、人件費等や諸々の問題がクリアになるのであれば職員数を増やすことも必要ではないと思います。 ・1クラス約10人に先生3人は手厚いと思っています ・園児が10名の場合は最低3名。それより少ないと従事する職員の方の負担が大きいのではないかと思います。 ・先生方の分担ができていたと思いました。（進行担当・こども達のサポート担当等） 	人員配置基準に従い、職員を確保しています。理学療法士及び作業療法士については、君津中央病院に委託し、月に1回程度来園し、機能訓練上、必要な助言等をいただいています。また、摂食指導については、君津木更津歯科医師会と連携し、親子通園クラスを中心に年4回実施しています。
	3 生活空間は、この部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置など、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、当園の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90.3%	8.1%	1.6%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが使いにくい。 ・写真などを多用して言葉が理解できない・話せない園児にも生活しやすい工夫がなされていると思いました。 ・隔離感が強い気がします。明るくない。 ・園での1日の流れを写真つきで壁に貼ってあり、目で見てわかるようになっていました。 	視覚支援を取り入れながら、構造化を行っています。年齢や障がいの特性に応じた療育環境となるよう、引き続き配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	79.1%	16.1%	4.8%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の古さは否めませんが、消毒や手入れをしてくださっています。 ・清潔さはないとおもいます。 ・難しい問題かもしれませんが、虫が気になります… ・老朽化は否めませんが、お手洗いなど排泄臭が気になる場所での清潔さを感じるなど、きちんと手が入っていることがわかります。 ・建物は古いですが、園内、各教室はきれいにされており、過ごしやすいと思います ・古い建物ですが、清潔に保たれており安心感があります ・どんなに清潔にされていても建物の古さや暗さはずっと気になる(新しい施設の件は把握しています) ・建物の老朽化 ・教室内に床に荷物入れボックスが人数分置いてあり、スチールラック等（安全対策をしてです）でまとめて置いた方が室内が広く使えると思いました。 	園児の降園後に、使用したおもちゃ、各部屋の清掃、消毒作業を行っています。また、年2回程度、業者による床清掃や窓ガラス清掃を実施しています。
適切	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90.3%	8.1%	0.0%	1.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・安心しておまかせしています。 ・細かい発達のスモールステップで個別療育が行われていて、子ども一人一人の特性に考慮しつつ全体活動も計画されています。 ・個別活動で行った資料等を家庭でも見ますが、子供が成長している!というのが改めて実感できるからです。 ・“専門性のある”かどうかは分かりにくいですが、それぞれの子供の特性を理解して寄り添ってくださっていることには大変感謝しております。 ・半年の通園ですが、とても成長を感じます 	保護者との面談や相談（随時）の中で、園児の発達目標を設定し、療育を実施しています。また、園児のクラスでの様子を観察し、おたより帳や電話により支援内容の報告等を行い、保護者及び園児に寄り添った支援を実施しています。専門性の向上については、ポーターシブプログラムなどの研修を受け、職員の向上に努めています。
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（※1）が作成されていると思いますか。	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・おかげさまでうちの子は愛児園さんに入りすぐ成長しました。子どものことをしっかり見てくれているからこそ適切な支援をしていただけていることがよくわかります。先生からの個別の様子の説明もとても丁寧で、わかりやすいです。 ・親子が達成感を得やすいような、発達段階に見合った高すぎない目標設定だと思います。 	日常生活や保護者とのやり取りの中から、ニーズを確認・分析し、担任とともに、ひとりひとりに適した個別支援計画の作成を行っています。

な 支 援 の 提 供	7	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	83.8%	9.7%	0.0%	6.5%	0.0%		児童発達支援ガイドラインに従い、個別支援計画を立てています。園児を取り巻く家庭環境や地域社会環境を踏まえ、支援内容に反映するよう心がけています。
	8	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88.7%	9.7%	1.6%	0.0%	0.0%	・行われていない所もある	計画に沿った支援となるよう、担任や職員が確認し、必要に応じて計画を見直しながら、支援を実施しています。なお、個別支援計画については、随時、相談に応じています。
	9	活動プログラム（※2）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85.4%	6.5%	1.6%	6.5%	0.0%	・活動プログラムがもっと回数があると○ ・夏の暑さなどで水遊びや外遊びが難しく遊びのバリエーションの制限があるなか、子供の体力を削ぎつつ、体調面での負担が無いように、先生方がとても工夫されています。 ・毎回違った内容の個別活動をして下さり、また、説明もわかりやすいです ・お便り帳に記載されている日々の活動、全てが活動プログラムにあたりますか？それでしたら、工夫されていると思います。	発達段階に配慮したうえで、プログラムの非固定化を行っています。お子さんが慣れて楽しめるよう考えながら、状況に合わせて、興味がさらに広がるよう内容を発展させています。
	10	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	67.7%	9.7%	9.7%	12.9%	0.0%	・あと一園くらい交流圏があれば嬉しいです。	受け入れ施設の協力のもと、君津市内の保育園2か所での交流保育を実施しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	きみつ愛児園を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96.8%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%		入園時に説明しています。入園後も、質問には随時、お答えしています。
	12	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95.2%	3.2%	0.0%	1.6%	0.0%	・細かく支援計画を立ててくださり、分かりやすかったです	個々の支援内容については、計画を作成する際に面談で説明し、同意をいただいています。また、電話でも随時、相談対応を行っています。
	13	きみつ愛児園では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※3）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	59.7%	24.2%	1.6%	14.5%	0.0%	・家族間で交流したり、意見交換などができる機会が少しあると嬉しいなと思います。 ・家族参加型の研修会はなかったような気がします。開催していただきたいと思います。 ・ペーストの作り方を教えてくださったり情報をいただいている。 ・給食試食会にて情報提供やアドバイスを受けることができ有り難かったです。参加したのは昨年度ですが、摂食指導も有り難かったです。	ペアレント・トレーニング等は取り入れていませんが、日常におけるクラス担任と保護者等間の「おたより帳」や面談、電話での相談により、保護者等に対する家族支援を行っています。また、保護者参加の園内行事を行い、職員や保護者間での懇談会も行っていきます。その他、情報提供の機会として、給食試食会を実施し、保護者の方へ給食を食べいただき、管理栄養士による食事の相談などを実施しています。
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	91.9%	6.5%	0.0%	1.6%	0.0%	・おたより帳のおかげで毎日の様子がよくわかるのでありがたいです。 ・母子通園の際に私が先生との会話の中で伝えられればいいのですが、なかなかタイミングが掴めないのでは施設での状況を話す機会があればと思います。 ・毎日のこどもの様子を記入して教えていただき、ありがとうございます ・保護者から子供の情報を提供するのには主にお便り帳になりますが、伝え足りないなど感じることもあります。発達の状況など緊急性はなく、電話をして伝える程の事ではないけれど、知っておいて貰いたいと思うことがあったりします。 ・「おたより帳」で家での様子、ここ最近夢になっているもの等、日々書くように心がけています。電話でも詳しく教えてくれたりします。	日々やりとりしている「おたより帳」にて、保護者へ園児の様子を伝えたり、保護者から家庭での様子を確認することができています。必要な際は、電話で体調等について伝えており、親子通園クラスについては、都度、保護者とやりとりをしています。
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88.7%	8.1%	1.6%	1.6%	0.0%	・面談の時間をもう少し長めにとって頂けると嬉しいなと感じます。目標や評価の確認にある程度の時間がかり、残り時間が気になり聞きたかったことが全て聞けないことがあります。	定期的に面談を実施しています。また、おたより帳を活用し、日々のやり取りを通じて、家庭での育児不安等に寄り添えるよう、働きかけを行っています。親子通園クラスについては、都度、保護者とやりとりをしています。
16	職員からお子さまや保護者に対し、感情や状況を理解し、寄り添う姿勢で支援されていると思いますか。	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	・いつも温かい対応をしていただき、心強く感じています。 ・子供の態度で分かります。信頼、安心して送り出せます。	日々のおたより帳を通じて、保護者との情報共有を回り、寄り添う支援を実施しています。親子通園クラスについては、都度、保護者とやりとりをしています。	
17	きみつ愛育父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	45.1%	19.4%	9.7%	25.8%	0.0%	・たくさんあると○ ・きょうだい問題は近年話題なので、近い年齢等で交流や悩みの相談の場ができればいいなと思います。 ・昨年度よりは保護者同士で関わるイベントが増えていて、普段他の保護者と接点がないのでありがたい。親子遠足があるがただの家族毎のレジャーでしかないのではほんの少しでもいいので交流する時間があると嬉しい。5月の段階ではどの子が愛児園なのか同じクラスなのかわからないのでせめてクラス単位で最初の点呼くらいはあってもいいのではと思う。 ・家族支援の機会をたくさん作っていただき感謝しております。今後、きょうだい障がいについて理解を深められる機会があるとありがたいです。 ・コロナが落ち着いてきて園での保護者が行く行事が以前よりは多くなったように思います。（人数制限なく）他の保護者の方とは、あまり関わりがありません。行事で集まった時にお話をしています。	卒園児の保護者との交流会を実施しています。日常生活における不安な点や、今後の小学校や特別支援学校生活での不安を、質問や相談できる場を提供しています。	

	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80.6%	12.9%	0.0%	6.5%	0.0%		保護者からの要望については、全体会議などで協議のうえに対応しています。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	87.1%	8.1%	0.0%	4.8%	0.0%	・「おたより帳」や電話で、できていると思います。	園児に対しては、言葉とともに、身振りや絵カードなどを使った視覚支援を行っています。保護者へはメール配信をし、園内での感染症情報などの情報を迅速に伝達しています。
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88.7%	8.1%	0.0%	3.2%	0.0%	・個人情報などで難しい点が多いですが、活動時の写真はもう少しほしいなと思います。 ・メールで子どもの様子、どんな活動をしているのか、写真つきで送ってくださったりします。その時は、うれしい気持ちになります。	クラスだより（年3回発行）や、行事ごとにクラス活動を写真を交えて保護者にメール配信し、様子をお知らせしています。また、自己評価についても、保護者にメール配信でお知らせしているほか、ホームページでも公開しています。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90.4%	3.2%	1.6%	4.8%	0.0%	・書面で確認の案内（子ども・親が「なかよし」の手紙で写真のせていいのかな等）がきます。	個人情報については、条例等に基づき、十分注意して取り扱っています。
非常時等の対応	22	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	82.2%	8.1%	0.0%	9.7%	0.0%	・まだ訓練を体験したことがないので… ・書面での説明はあったかもしれませんが ・メール配信・書面でいただいたりします。	今年度BCP（自然災害及び感染症）の策定を行い、同年に職員向けの訓練を実施しています。
	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	80.7%	3.2%	0.0%	16.1%	0.0%	・書面での説明はあったかもしれませんが ・「なかよし」でひと月の予定に「避難訓練」等の案内があります。	月に一度、火災や地震を想定し、園児全員と園舎から園庭などへ避難させる避難訓練を実施しています。また、年齢に対応した非常食を備蓄しています。
	24	きみつ愛児園では、子どもの安全を確保するための計画について周知されるなど、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88.7%	6.5%	0.0%	4.8%	0.0%		「年間の安全計画」を保護者へメール配信し、お知らせしています。
満足度	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、きみつ愛児園から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85.5%	1.6%	0.0%	12.9%	0.0%	・「こういうことがあってこうなりましたが、こういう対応でいいですか？」と電話で細やかに相談をさせていただきます。 ・大きな怪我や発熱などでなくても、ほんの少しの変化も電話で知らせて下さいます。状況に応じて担任の先生、園長先生、看護師さんが丁寧に説明して下さるので安心感があります。 ・説明があったかもしれませんが（入園時）、現在は把握していません	速やかに保護者へ連絡しております。急なお迎えをお願いする際は、担任から直接、状況説明や体調の様子を伝えるように努めています。
	26	子どもは安心感をもって登園していますか。	95.2%	1.6%	0.0%	3.2%	0.0%	・毎日良い表情で通園しており、穏やかに過ごしています。 ・愛児園が大好きです。バスもです。先生も優しいと教えてくれます。 ・特性を踏まえて無理な関わりがなく、適度な距離感で接して下さり、信頼関係が築きやすい関わりです。 ・入園してから「行きたくない」と言ったことがないです。毎日、思いっきり遊んで、疲れて帰ってきます。 ・言語表出がないため、聞けませんが、子供の様子を見ていれば楽しく通園できていることが分かります。 ・環境の変化に対応が難しい子どものことを理解して見守ってくださっています。バスの運転手さんも早い段階で名前を覚えてくださいます。泣かずにバスに乗れた際には褒めてくださり、とてもありがたいです。 ・今はまだ感情を読み取ることが難しいため ・意思伝達が未発達な子どもなので真意はわかりませんが、登園に関しては楽しそうに通っていると思います。 ・楽しめているかはその時々で変わるかなという感じですが、物凄く強い拒否は殆ど感じたことがありません。 ・毎日園に行くことを楽しみにしています。 ・16と同じです。	今後とも、園児及び保護者に寄り添った療育を実施して参ります。
満足度	27	子どもは「きみつ愛児園」への登園を楽しみにしていますか。	85.5%	3.2%	0.0%	11.3%	0.0%	・冗談で「土・日曜日も愛児園行く」と言ったりします。毎日、行くのを楽しみにしています。 ・親子共、今の環境と生活に満足して生活できています。 ・大きく成長しています。 ・愛児園さんに、入園できて本当に子どもはすごく成長して、毎日楽しそうに過ごしています。感謝しかありません。子どもも、私も心から安心できる場所に出会えてよかったです。いつもありがとうございます。 ・給食のおしぼりが地味に洗濯が大変で、特に夏場は臭いが苦痛です。SDGSの流れに反するかもしれませんが、ウエットティッシュにしていたらとありがたいです。 ・活動を通じて色々な経験をさせていただき、又、参観で子どもの様子を見る機会と一緒に遊ぶ機会を作っていたり、先生方には感謝しています。個別支援を取り入れて下さり、先生と一対一で何かに集中して取り組む時間も、とても支援が手厚いと思っています。愛児園に入園できて良かったです。 ・先生方の温かく丁寧な支援に子供だけでなく、親も救われております。周囲になかなか理解して貰うのが難しいことも、寄り添い共感して頂き、とても救われた気持ちになります。子供の本当に小さな成長も一緒に喜んでくださる先生方の存在はとても有難いです。 ・子どもの状況に沿って支援してくれていると思います。	発達支援を第一としながらも、お子様に園を楽しみにしてもらえよう、今後も支援内容を工夫していきます。
	28	「きみつ愛児園」の支援に満足していますか。	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%		アンケート結果を踏まえて、よりよい施設となるよう努めて参ります。職員の療育に対する知識・技能の向上のための研修への参加や、園児の興味にさらなる広がるような療育支援の実施など、保護者からの信頼をより得られるよう、園や家庭の様子を共有していきながら、今後とも努めて参ります。

児童発達支援事業における自己評価結果（公表）

公表：令和7年2月28日
 事業所名：君津都市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園
 保護者からのご意見を踏まえ、運営における課題点及び改善点を確認し、今後の運営に生かしていきます。
 対象：令和6年11月1日在籍児童60名の保護者56世帯

チェック項目		はい	いいえ	改善すべき点を踏まえた改善内容、工夫している点など	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等に対して適切なスペースであるか。	○		設備基準を満たした指導室、遊戯室を確保している。その他に66平方メートルの集会室もあり、各クラスで工夫しながら利用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	設置基準を上回る人員を確保している。また、正職員の看護師、管理栄養士各1名を配置している。	<ul style="list-style-type: none"> ・全て4対1ではなく、個性の強さなどによって3対1、2対1などその時の子どもたちの姿でかえてほしい。 ・職員の休みが多い時は、人が足りないと感じる ・職員の配置数を増やして欲しい。 ・必ず園児4人に大して職員1人を維持している。 ・4対1の配置をしているが、今年度は、未満児を受け入れたことで、厳しい状況だった。年上の支援学校の方が、配置人数が手厚く、愛児園は厳しい状況だと感じた。 ・全員安定して出勤できれば問題無いが、急な休みも多く（体調不良など理由はしょうがありませんが）もう少しフルタイムでいれる人手が欲しい。 ・4対1は守られているが、子供の重度に、よっては安全の確保が難しい。 ・写真や絵カードなど、目から情報が入るよう工夫されている ・絵カード使用
	3 生活空間は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、当園の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		園児が次に行動や支度がわかるように、視覚支援を取り入れて工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		訓練室やトイレを毎日清掃、消毒することで、清潔で過ごしやすい環境づくりを行っている。こども達の活動に関しては、登園してすぐに訓練室で体を動かす活動にしたことにより、こどもの気持ちの切り替えにつながり、スムーズな療育支援を提供できている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	○		個別療育の際は園児と先生職員が1対1になるように配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育が成立するように、部屋や活動をしっかり工夫している。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援において、クラス担任を中心に話し合い、週に一度の全体療育会議で振り返りや改善点を話し合っている。また、人事評価制度の中でも目標設定、達成度の評価を行い、業務改善に役立てている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、保護者からの事業所評価を行い、内容改善を運営委員会で話し合い、結果を職員間へ共有している。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも同様のアンケートをとっている。また、その意見を元に改善してきていることもある。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週に1回療育会議を開催し、職員で話し合う場を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていない。	
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や当園内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部オンライン研修のほか、講師を招いての内部研修の機会も増やしており、研修終了後には復命会を行っている。また、委託している理学療法士や作業療法士の指導見学や、摂食指導時の医師カンファレンスなども研修と同様の効果を上げている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部への研修依頼や、感染症対策研修など開催している。 	
適切	11 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○		個々の支援内容について、計画を作成する際に面談で説明のうえ、同意を得ている。また、電話でも随時相談対応を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・気になった事や日中の様子など、電話で連絡するようにしている
	12 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成時に支援会議を行い、情報共有に努めている。計画作成前の保護者面談の際に担任職員も同席の上で個別支援計画の立案を行っている。	
	13 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した支援計画は担任と共有し、担任はそれに基づいた療育を提供している。また、個々にケース記録を作成し、情報を職員間で共有しながら改善につなげている。	
	14 こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		入園時に、保護者にボーディングに沿って発達状況を確認してもらう。また、面談を通して、家庭での伸長も確認している。	
	15 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえながら、保護者との面談を行い、具体的な支援内容及び達成目標時期を設定している。	

な 支 援 の 提 供	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全クラスが複数の担任制であるため、リーダーを置き、設定ごとのチーム単位で内容の検討を行っている。	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		発達段階に配慮したうえで、担当保育士が1ヶ月を単位として固定化しないよう工夫している。	・月単位で、毎日違った活動を各クラス立案している。
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の発達を踏まえながら、適した活動を取り入れた個別計画を作成している。	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝と夕に打合せを行い、支援内容の確認や振り返りを実施している。 なお、打合せの欠席者については、PCをツールとし、内容が共有できるように努めている。	・時短の職員と連携が難しい
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝と夕に打合せを行い、支援内容の確認や振り返りを実施している。 なお、クラス毎での振り返りを実施していることもある。	・19と同じ
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個々のケース記録をつけ、クラス担任内で共有し、支援の検証や改善点などを話し合い、記録している。	・週に一回、ケース記録に記載している。 ・日々ケースを書く時間を作っている
	22	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6か月に1回、見直しの必要がある際には都度、モニタリングを実施している。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担任など、本人の状況に精通した職員が参画している。
24		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		近隣4市の母子保健関係部門や基幹相談支援センターなどと連携し、支援を行っている。	
25		事業所等への併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他保育園との併行利用者へは保育園への情報提供を行いながら、実際に園での様子を保育士が見学し、支援内容や相互理解を図っている。	
26		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		該当児の保護者に情報共有について了承を得た上でやっている。 なお、小学校については訪問や電話で、支援学校については来園して情報共有がある。	
27		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		他の児童発達支援事業所等と連携しており、研修や訓練などの情報交換を行い、事業所運営の質の向上に努めています。	・あまりその機会は無い
28		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部講師を招き、職員で研修受ける機会を設けているほか、外部での研修にも参加している。	
29		(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		所長、園長、相談支援係長が可能な限り参加している。	
30		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		定期的に市内の公立保育園（2園）と交流を行っている。	・交流保育を行っている。
31		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		おたより帳にて保護者と共有をしているが、内容により、口頭の方が伝わりやすい場合は電話でも対応している。なお、親子通園のクラスについては日々、対話をしている。	
32		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングは取り入れていないが、日常の様子をおたより帳にて共有し、面談や電話相談を通じて保護者に対する家族支援を行っている。また、保護者が参加できるお知らせがあれば配布している。	・ハイにはしたが、保護者との関わりがペアレントトレーニングにつながっているのかはわからない
	33	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園時にわかりやすく丁寧に説明している。	
	34	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に担任と保護者間との面談を実施し、日常の様子を伝え、保護者の意向を確認して個別支援計画にも反映している。	

保護者への説明等	35	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○	定期的な面談で説明を行い、同意を得たうえで計画を作成している。	・個別面談で最低でも年に2回、実施している。
	36	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	おたより帳に相談があればコメントで返事をし、電話での対応もしている。また、要望があれば直接、面談も行っている。	
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会は設置している。また、クラス単位での活動や交流会なども行っている。なお、母子通園クラスでは保護者のみで過ごせる時間を設け、連携を支援している。	・暫くコロナの影響で中止していたが、今年度は懇談会や保護者会勉強会で卒園児の保護者との交流の機会も予定している。
	38	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	保護者からの申し入れに対しては、全体で協議のうえ、速やかに対応している。	
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月、おたより「なかよし」で各種情報発信を行うとともに、不定期のお知らせも発信している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	規程に基づき取り扱っている。なお、外部に情報提供する場合は保護者の同意の上で行っている。	
	41	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	言葉のみではなく、身振りや絵カードなどの視覚支援も行いながら取り組んでいる。	
	42	きみつ愛児園の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	毎年、地域のロータリークラブやライオンズクラブとクリスマスにサンタ・イベントを行っている。	・コロナ後、行ってないと思う
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	それぞれマニュアルを策定し、適宜、見直しを行いながら子どもたちが安全に過ごせるよう努めている。	
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	今年度策定し、職員向けの訓練を行った。	
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	入園前に必ず確認し、在園中についてもその都度確認をしている。	
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーがある場合は、必ず医師の診断書を提出のうえ、対応している。	・診断書を提出してもらうなど、徹底している。
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、研修や訓練を計画的に行っている。	
	48	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	メール配信にて安全計画の周知を行った。	
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット事例を作成・回覧し、情報共有している。なお、事例については発生の都度、全体会議で報告している。	・適宜、記録を書き回覧したり、打ち合わせ内で発表したりして全体に共有している。
50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	園全体で研修会を実施し、知識の共有を図っている。また、不定期に会議で取り扱うことで意識づけを図っているほか、外部の研修にも参加している。	・毎年行っている。 ・研修は受けているが、言葉が気になる職員はいる。	
51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○	個別支援計画に記載し、保護者の了解を得たうえで取り扱っている。		